

エルサルバドル訪問記

私は2024年10月10日から15日まで、エルサルバドル唯一の合気道組織であるエルサルバドル山水会(さんすいかい)の代表者アルマンド・デラ・ロサ先生(合気道五段)のお招きで、エルサルバドル山水会創立25周年記念行事のため、首都サンサルバドルを訪問しました。



山水会とは、ニューヨークを拠点に、50年以上にわたって世界の合気道の普及振興にご尽力なされ、昨年ご逝去なされた故山田嘉光師範のお弟子さん達の友好交流団体であり、昨年コロンビアの首都ボゴタでラテンアメリカ各国の山田師範門下生が一堂に集まり、山田師範を偲びつつ今後のラテンアメリカ各国の合気道普及と振興を図る事を目的として第1回合同セミナー・演武大会を開催しました。



第2回の今年はエルサルバドル山水会の創立25周年と重なる事から、サンサルバドルでの開催となったわけです。また、エルサルバドル唯一の合気道団体指導者であるアルマンド先生が日頃から在エルサルバドル日本国大使館と緊密な関係を保ってきた事も有り、今回私の訪問に際しては、日本大使館に全面的にご支援頂く事となりました。



講習会は日本大使館のご後援のお陰で、市内にある国立総合スポーツセンター内の体育館に畳を敷き詰め、のびのびと稽古する事が出来ました。今回地元エルサルバドルの会員はもとより、メキシコ、ニカラグア、ホンジュラス、コスタリカ、ドミニカ共和国、プエルトリコ、コロンビア、エクアドル、チリ、ウルグアイ、アルゼンチン、アメリカ、更に遠くカナダや日本から75名程の参加者が集まり、3日間に亘り熱心に稽古に励みました。

10日には星野芳隆駐エルサルバドル共和国日本国特命全権大使のお招きで大使公邸に於いて昼食会となり、アルマンド先生や片腕であるラリザ先生と共にエルサルバドルの合気道の現況や今後について、星野大使はじめ関係者の皆様と情報交換をさせて頂きました。

講習は11日夕方から13日午前中まで、1時間ずつ計8回行われ、私の他にラテンアメリカ山水会の重鎮でもあるチリのエルソン・オレア先生(合気道六段)と地元のアルマンド先生がそれぞれ担当しました。また、12日午後には星野大使ご夫妻やエルサルバドル柔道連盟、空手道連盟、剣道連盟の代表者もお招きして、エルサルバドル山水会の少年部会員と各国代表が演武を披露しました。この模様は会場に観覧に訪れた方々だけでなく、地元のテレビや新聞でも大々的に取り上げて頂き、今後のエルサルバドルでの合気道普及の大きな足掛かりになる事が期待されます。



なお、今回の講習会には山水会傘下の団体に限らず、広く多くのラテンアメリカの合気道団体からも参加が有りましたので、今後のラテンアメリカ諸国の合気道を通じた交流にとって大きな試金石になったかと思われまます。

アルマンド先生を中心として、今後益々エルサルバドルの合気道が普及・発展する事を心から願っています。

栗林孝典（くりばやし たかのり）氏

(公財)合気会合気道本部道場指導部師範 合気道7段。国際合気道連盟技術専門委員。国際武道大学非常勤講師、日本体育大学非常勤講師。合気道本部道場を中心に、東京外国語大学合気道部等で指導を行う傍ら、年間数回の海外指導を行い、国内外においての合気道普及に尽力している。